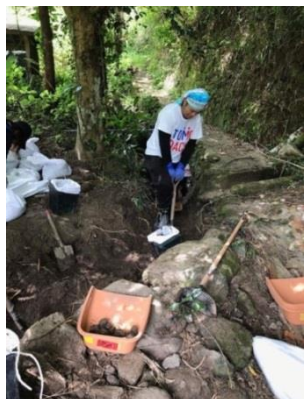


## 九州北部豪雨被害復興支援活動に対する交通費補助について

ボランティア・ビューローでは、2017年8月より、九州北部豪雨被害復興支援活動に対する交通費補助を開始しています。九州への往復航空券の費用を対象に、**上限35,000円まで**補助いたします。この制度を利用したボランティア活動の第1号として、総合人間科学部看護学科3年今井けいさんが、8月2日～4日、福岡県東峰村にてPeace Boat Japanの活動に参加しました。

豪雨災害発生から2ヶ月が経ちましたが、被災地では今も1,100人以上の方が仮設住宅での避難生活をされています。ぜひ制度を活用したボランティア活動へのご参加を検討してみてください。



## 活動報告書より

災害発生から1か月が経過し、道路や基本的なインフラ、そしておおまかな土砂の搬出が終わっているものの、日常生活には復帰できない亜急性期～回復期に当たる期間であった。この中で、土砂崩れが起こってつぶれた水路の再建、台風対策としての土嚢の壁の作成、床上浸水した自宅の土砂掻き出し、柱にこびりついた土の洗浄を行った。

今回の活動成果としては、活動の2日後に上陸が予定されていた台風へ備えた対策としての土嚢壁を作り上げられた事である。災害と言えば日常への復旧が優先と考えられがちであるが、一度災害が起こった地域では住宅や地盤が脆弱化しているため更なる災害が発生しやすい状況にある。ただ単に復旧するだけではなく、その先を見据えた活動を展開することができたのは大きな成果であったと思う。

## 手続きの流れ



## STEP 1: 事前申請

活動先への申込完了後「事前申請書」を提出し、ボランティア・ビューロー開催の**事前研修**(活動未経験者は必須)を受講する

## STEP 2: 活動

指定の「活動証明書」に活動先責任者等の署名・捺印を受ける

## STEP 3: 事後申請

「活動証明書」「活動報告書」「交通費補助申請書」「交通費の領収書(原本)」をボランティア・ビューローに提出する

交通費補助

まずはボランティア・ビューロー窓口までお気軽にお問い合わせ下さい！  
(東北・熊本地震復興支援への交通費補助も継続中！)

## 課外活動団体STP Cambodiaの活動が現地新聞ラスメイカンブチア新聞に掲載されました。



この夏、Summer Teaching Program (STP) Cambodiaが現地で活動中に、その様子がラスメイカンブチア新聞に掲載されました。

STP Cambodiaは、9年間、シムリアップ州のWat Chork Secondary Schoolで、独自の教材を作成して、夏に英語の授業を行なっています。

9年間も同校で活動を行なっている理由を記者の方に質問された際には、シムリアップはアンコール遺跡があるので近年観光客も非常に増えており、英語が話せるカンボジア人の需要が高まっていること、また、同じ学校でプログラムを続けることで毎年来る生徒たち、そして学校全体の成長が見られることを挙げました。

丁度取材の日にSTPCメンバーは全員浴衣を着ており、教室での授業を終えてから、生徒たちにJapanese Festivalを体験してもらったアクティビティがあったため、STPCが英語教育だけでなく文化交流としての役割も果たしていることに、記者の方も非常に興味を持って下さったそうです。

## ボランティア・ビューローの新企画、「過疎地における農業・民泊体験型プログラム」(南三陸)が終了しました。

人口が減少し、地域社会の活力が低下している地域では、どのような課題が発生し、対策を施しているのか？

今後、日本全体が抱える問題が先行して発生している地域での活動を通して、自分事として課題解決を考える企画を行い、のべ30名が参加しました。詳しくはボランチ通信9月号でもご報告します。

